

2017 年 6 月 21 日

## 新型 Audi RS 5 Coupé を発表、受注を開始

- ・ Audi Sport 開発による Audi A5 シリーズのトップモデル
- ・ 新開発の 2.9ℓV6 ツインターボエンジンは最高出力 450PS、最大トルク 600Nm を発揮
- ・ Audi quattro を彷彿とさせるプリスターフェンダー。標準モデルに比べて全幅は 15mm 拡大

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：斎藤 徹）はプレミアムスポーツクーペ Audi A5 シリーズのトップモデル RS 5 Coupé をフルモデルチェンジ。本日より全国の Audi Sport 店（26 店舗、現時点）及びアウディ正規ディーラー（125 店舗、現時点）を通じて受注を開始します。発売は 9 月下旬の予定です。

Audi RS 5 Coupé は、Audi R8 や RS 6 など、アウディのハイエンドスポーツモデルを手がける Audi Sport GmbH が開発した Audi A5 シリーズのトップモデルです。

エンジンは先代の 4.2ℓV8 DOHC に代えて、新開発の 2.9ℓV6 ツインターボエンジンを採用。最高出力は 331kW(450PS)、最大トルクは先代比 170Nm アップの 600Nm を発揮します。8 速ティアトロニックトランスミッションと quattro フルタイム 4WD システムを組み合わせることにより、大パワーを確実に路面に伝達し、優れた高速安定性と操縦安定性を実現します。0-100km/h 加速はわずか 3.9 秒、最高速度は 280km/h に到達します。一方で、アウディ独自の燃焼方式である B サイクルを採用するこの高性能エンジンは、NEDC（新欧州ドライビングサイクル）で 100km 走行あたり 8.7ℓ(11.5km/ℓ)の低燃費を実現します。

フロントサスペンションは、改良型の 5 リンク式となり、リヤも 5 リンク式を採用しています。これによりスポーティな走行特性と俊敏なハンドリングが得られるとともに、快適性も大幅に向上します。DRC（ダイナミック・ライド・コントロール）付スポーツサスペンションプラスや、状況に応じて走行特性を調整可能とするアウディドライブセレクトも標準装備します。

エクステリアでは、quattro のロゴを配した専用のシングルフレームグリルや大型のエアインレット、さらに専用の前後バンパー、リヤディフューザーを採用することで、RS モデルらしくスポーティさを強調しています。標準装備のマトリクス LED ヘッドライトはカラーベゼルを採用し、他のグレードとの差別化を図っています。また伝説のマシン Audi quattro を彷彿とさせるプリスターフェンダーも RS 5 Coupé の特徴で、標準モデルに比べて全幅は 15mm 拡大しています。

インテリアはスポーティかつエレガントなもので、ダイヤモンドステッチングが施されたファインナッパレザーの S スポーツシートや、アルミニウムレースアンスラサイトのデコラティブパネルを配しています。インフォテイメントシステムも最新のもので、メーターパネル内に設置された 12.3 インチの TFT（液晶）ディスプレイにスピードメーターやタコメーターだけでなく、ナビゲーションシステムをはじめとする様々な情報を表示できるアウディバーチャルコックピットを標準装備。アウディプレセンスシティ（歩行者検知機能付自動ブレーキ）、をはじめとし、数々の最新安全技術とアシスタンスシステムも搭載しています。

モデル	エンジン	トランスミッション	駆動方式	走行レンジ	車両本体予定価格（税込）
Audi RS 5 Coupé	2.9ℓV型6気筒DOHCターボチャージャー 450PS/600Nm	8速ティアトロニック	quattro	左/右	12,570,000

\*本リリースの諸元は、すべて欧州仕様参考値です。